

平成 26 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	05	03	0401	読書活動推進事業
総合計画	分野	人づくり			
	政策	3-3	生涯学習の推進		
	施策	1	自主的学習の推進		
目的	読書活動の推進				
対象	乳幼児～高校生				
意図	本に親しみながら親子のふれあいを深め、子どもの感性を磨き想像力を高める。				
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること				
○ブックスタート及びブックスタートプラス事業 4か月児離乳食教室及び1歳6か月児健診に合わせ絵本を贈り読書指導。 ○読書活動推進 社会教育指導員の配置及び乳幼児親子～小学校低学年を対象にした読み聞かせの実施。 ○こども読書くらぶ 読書習慣の定着化及び図書館の利用促進のため、小学生から高校生までを対象とした読書くらぶを設置し、テーマに沿ったくらぶ活動を実施。 (参考) H26活動テーマ「しごと」、会員数41名					
市民参画の有無	[対象外]				
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会		事業協力・協定	
	後援・協賛	補助・助成		委託	
活動指標 (上記「事業概要」に対応)	単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
① ブックスタート及びブックスタートプラス実施回数	回	計画	80	80	80
		実績	84	98	
② 読み聞かせ実施回数	回	計画	78	90	90
		実績	130	121	
③		計画			
		実績			
成果指標 (上記「意図」に対応)	単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
① ブックスタート及びブックスタートプラス参加率	%	目標	90.0	94.0	94.0
		実績	92.4	91.9	
② 読み聞かせ参加者数	人	目標	1,940	1,940	1,940
		実績	1,545	1,561	
③		目標			
		実績			
成果指標の達成度	目標値より高い	<input type="radio"/>	概ね目標値どおり	<input type="radio"/>	目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
26年度から、ブックスタート事業の対象者を11か月児から4か月児に変更することにより、早い時期から絵本に親しむことの大切さを啓発することができた。4か月児対象の離乳食教室は11か月児対象の育児学級より参加率が低い傾向にあるため、参加率が減少した。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	子どもの読書活動の推進に関する法律及び第二次花巻市子ども読書活動推進計画に基づき。市が読書活動の環境の整備を推進するものである。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	4か月児を対象としたブックスタートに、1歳6か月を対象とするブックスタートプラス、年2回のフォローアップ事業を行い、参加率の向上を図った。また、事業の実施に当たっては、チラシやポスター、ホームページ等を活用し、周知を図った。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	事業費は、配布絵本の購入費や非常勤職員報酬がほとんどであることから、削減の余地はない。また、人件費はブックスタート等事業は、月4回(2時間程度)実施し、読み聞かせは、月3回(1時間程度)実施しており、その他はカウンター業務やレファレンス業務に当たっているため、削減の余地はない。
	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある	
	<input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	市内全域の乳幼児等を対象としており、公平・適正に実施されている。
	<input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある	
	<input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある	
総合評価 …上記評価結果の総括		
・ブックスタート及びブックスタートプラス事業を実施することにより、早い時期からの読書習慣の定着を図ることができた。 ・読み聞かせの参加者数はブックスタート効果で、0～2歳対象のおはなし会の参加者が微増した。継続して実施することにより本への関心度をさらに高めることができ、読書習慣が身につくことが期待されるため、ひき続き広報誌・FMワンの図書館インフォメーション等を活用して周知を図り、読み聞かせボランティアの協力を得て実施していく。		

平成 26 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-1*	事業名
一般	10	05	03	0401	読書活動推進事業

単位：千円

		25年度 決算額(A)	26年度 決算額(B)	27年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		5,904	6,332		428
財源内訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源	5,904	6,332		428

事業期間	○ 単年度繰返	■ 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---------	--------	-----------------

部経営方針における目標
文化の香り高いまちをつくります

事業開始の背景・経緯
読書活動推進については、従前から各図書館で実施してきたが、平成13年に「子どもの読書活動の推進に関する法律」が公布・施行され、この法律等に基づき、花巻市においても「子ども読書活動推進計画」を策定し、読書活動の推進を図ってきた。

事業概要
○ブックスタート及びブックスタートプラス事業
4か月児離乳食教室及び1歳6か月児健診に合わせ絵本を贈り読書指導。
○読書活動推進
社会教育指導員の配置及び乳幼児親子～小学校低学年を対象とした読み聞かせの実施。
○子ども読書くらぶ
読書習慣の定着化及び図書館の利用促進のため、小学生から高校生までを対象とした読書くらぶを設置し、テーマに沿ったくらぶ活動を実施。
(参考) H26活動テーマ「しごと」、会員数41名

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等
・早い時期からの絵本の読み聞かせがその後の子どもの読書習慣に及ぼす影響が大きいことから、保健センターとの協議により、平成26年度より11か月児の育児学級から4ヶ月児の離乳食教室で絵本を贈り、読書指導を行うこととした。また、引き続き1歳6か月児を対象としたブックスタートプラスを実施するとともに、不参加者の対応としてフォローアップを行い、参加率の向上を図る。
・子ども読書くらぶは、子どもの読書習慣の定着や本と親しむ喜びを実感してもらうとともに、図書館を利用した調べ学習のコツなどを体得できるよう継続して取り組んでいく。
・読書活動の推進には、読み聞かせボランティア団体との協力連携が必要であることから、団体間相互の情報交換の場や読み聞かせボランティアの研修機会を設ける。

担当部署 部名 生涯学習部 課名 花巻図書館 担当係長 吉田郁子 内線 8-383 (単位：千円)

《事業手法の詳細》

- ①ブックスタート及びブックスタートプラス事業 2,005千円**
・保健センターで開催される4か月児の離乳食教室(ブックスタート)及び1歳6か月児健診(ブックスタートプラス)に合わせて、絵本を贈り読書指導を行う。
- ボランティア謝礼 166千円 花巻図書館 毎月各2回(保健センター)
 - 消耗品代 1,830千円 大迫図書館 隔月1回(大迫保健センター)
 - 切手代 9千円 石鳥谷図書館 隔月1回(石鳥谷保健センター)
東和図書館 毎月1回(東和保健センター)
- ②読み聞かせ事業 4,134千円**
・乳幼児親子から小学生低学年を対象とした読み聞かせの実施。
- 社会教育指導員報酬 2人 3,521千円 花巻図書館 お話会(0~2歳、3~4歳、5~小低学年対象) 毎月各1回
 - 社会保険料等 527千円 大迫図書館 おはなしでてこい 毎月1回
 - 講師、読書ボランティア謝礼 86千円 石鳥谷図書館 おはなし会 毎週1回
東和図書館 読み聞かせ会 月2回
- ③子ども読書くらぶ事業 193千円**
・会員制の「子ども読書くらぶ」を設置し、各図書館のテーマ別活動を通じて読書習慣の定着化や本と親しむ喜び、学習のコツなどを体得させる。
- 講師、ボランティア謝礼 19千円
 - 需用費(消耗品、修繕料) 139千円
 - 切手代 35千円

